

文化振興計画の推進について

文化芸術活動の振興には長期にわたり継続的な取り組みが大切となります。このため、安定した財源の確保を検討しつつ、現在の取り組みの継続と見直し、新たな取り組みの検討を行います。

施策

1

文化芸術を楽しむ心を育成します。

市民が文化芸術活動を行う機会、鑑賞する機会を充実し、文化芸術を楽しむ心をそだてます。

◆市民が文化芸術活動を行うこと、鑑賞することの拡充

気軽に参加でき興味を引くイベントなど、市民が文化芸術を行いたい、鑑賞したいと思えるイベントの実施や、普段から活動している「人」や「団体」に活動の成果を発表する機会を提供します。

◆子どもを対象とした文化芸術活動の充実

次代の担い手である子どもたちへ質の高い文化芸術や、幅広い分野の文化芸術に触れる機会を拡充します。

主な取り組み

市民総合文化祭、佐久平の美術展、市民コーラスまつり、おはなしの会、まちじゅう音楽祭、はつらつ音楽サロン、文化事業団自主事業 など

■ 今後の取り組み

○子どもの芸術鑑賞の拡充

コスモホール等の施設を活用してオーケストラや演劇などの公演を開催し、子どもたちが質の高い文化芸術に触れる機会を拡充します。

○文化芸術イベントの拡充

市民・団体・企業・行政が協働して、多くの市民が気軽に集まり音楽や演劇などの文化芸術を楽しむイベントを企画します。

文化芸術活動を行う人や団体を育成します。

市民や団体が行う文化芸術活動の支援を通し、活動の活性化を図ることにより、人や団体をそだてます。

◆市民が行う文化芸術活動の支援

市民や団体が文化芸術活動を行うための場所・機会などの環境を整備し、特徴ある文化芸術活動や人材・団体の育成により、特色ある地域づくりを推進します。

また、文化芸術活動を専門的に取り組む人に活躍の場を提供し、人材の育成と市民が身近な場所で質の高い文化芸術に触れる機会の拡充を図ります。

◆市民の生涯を通じた文化芸術活動の支援

多くの市民が文化芸術活動により生きがいを持ち、生涯を通じて豊かな生活が送れるよう、文化芸術に関する生涯学習活動を支援します。

◆文化芸術活動を含む学習活動の支援

地域に根ざした文化芸術活動を含む学習活動の充実のため、顕著な成果を上げた市民や団体の活動を支援します。

主な取り組み

第九演奏会、高齢者大学、高齢者大学大学院、こころのミュージカル

まちづくり活動支援金、消防団音楽隊定期演奏会、芸術文化振興激励金事業

など

■ 今後の取り組み

○文化芸術活動を行う人材の育成

市民が集まる場所で、洋楽や邦楽など様々な音楽が演奏される機会を拡充し、演奏家の活動の場をひろげ、人材を育成します。

○文化芸術活動の支援

市民や団体が主体となって、多くの人が集まり行われる文化芸術活動を、(財)佐久市文化事業団と連携し支援します。

施策
3

後世へ貴重な文化財を継承します。

文化財の管理・保全をし、活用することで後世へつたえて行きます。

◆文化的財産の管理・保全・継承

本市には古くから残る史跡や建物など、多くの貴重な文化財が残されています。これらの文化財を適正な管理による保全に努め、後世へ継承して行きます。

◆地域の見直しと魅力の再発見

市民が自分たちの育った地域の歴史や風土を学び、見つめ直すことで、その魅力を再発見し、地域に対する誇りと愛着の心をそだてます。

主な取り組み

少年考古学教室、歴史民俗資料館講座、五郎兵衛用水を歩く会
市民ふれあい学級「文化財めぐり等」、市内石造文化財めぐり

など

■ 今後の取り組み

○歴史講座の実施

市に残る文化財について調査し、公開を図るとともに、公民館や学校などの学習活動を活用した歴史講座を開催します。

○文化財ガイドの人材育成

歴史を研究するグループ等と連携し、貴重な文化財を多くの人に紹介するため、ボランティアガイドを行う人材を育成します。



新海三社神社三重塔

施策
4

伝統行事や先人の残した業績・功績を伝承します。

伝統行事の担い手を育成し伝承することや、先人の残した業績・功績の調査や整理を行い、これらを地域の財産として後世へつたえて行きます。

◆伝統文化の伝承と情報発信

地域で行われる特色ある祭礼や民俗芸能などの伝統行事に、多くの市民の参加を促し、伝統行事の担い手の育成と、次代への伝承を図ります。

また、これら特色ある伝統行事を観光資源としても活用を図り、積極的な情報の発信により地域の魅力をひろめます。

◆先人が残した業績・功績の顕彰

佐久にゆかりのある先人の中には大きな業績・功績を残した人々があります。その業績・功績を顕彰し、文化的財産として次代へつたえるとともに、市外へ地域の魅力として情報を発信しひろめます。

主な取り組み

佐久の先人検討事業、跡部の踊り念仏、湯原神社式三番、
鳥追い祭り、神祭、機織り体験講座、わがまち佐久・市民講座
民俗文化後継者育成補助金

など

■ 今後の取り組み

○佐久の先人の業績や功績の顕彰

佐久にゆかりの先人たちが残した業績や功績の調査を行い、その内容を学校や家庭に配布するほかホームページなどを活用し、地域の魅力として情報を発信します。



島崎藤村旧宅

施策
5

文化芸術情報を提供します。

文化芸術情報を様々な角度から提供し、人や団体・イベントなどをつなげます。

◆文化芸術情報の収集と発信

市内では多くの人材や団体などにより、文化芸術に関する様々な活動やイベントなどが行われています。

これらの人や団体、活動やイベントなどの情報を集約し、市民へ分かり易い情報発信を行います。

◆文化芸術情報の活用

文化芸術活動の活性化を図るため、活動や鑑賞の希望と行える場所をつなぐなど、文化芸術に関する情報の効果的な活用を図ります。

また、文化芸術情報の活用方法として、パソコンや携帯電話などの活用を含め、新しい情報発信ツールによる活用を検討します。

主な取り組み

生涯学習リーダーバンク・公民館グループの紹介・市民まちづくり講座

生涯学習機会情報

など

■ 今後の取り組み

○文化芸術活動を行う人材のデータベース化

文化芸術活動を行う人や団体の情報を収集しデータベースにまとめ、ホームページや市民活動サポートセンターなどを活用し、市民に分かり易い情報を提供します。

親しまれる文化施設の運営を行います。

各施設の連携による新たな魅力の創造や親しみのある文化施設の運営で施設と人をつなぎます。

◆文化施設の特徴を生かした企画展の開催

市内には様々な特徴を持った文化施設があり、その特徴を生かした企画展を開催するなど施設の有効活用を図ります。

◆展示品・収蔵品の充実と有効活用

美術品や工芸品、古文書など貴重な財産を適正に収集・保管し、整理・調査を行うことでその価値を確定し、展示を行うことで有効な活用を図ります。

◆文化施設の連携した取り組み

文化施設が互いにつながり連携した取り組み（さくぶん連携事業※）を行うとともに、観光や学習など他の分野とつながることで、新しい魅力づくりに努め、多くの人を訪れる魅力ある施設運営を行います。

◆文化施設的环境整備

文化施設の中には経年による大規模な改修や修繕が必要なものがあります。このため、施設の特徴や利用状況などの条件を総合的に検討し、計画的な建て替えを含む改修や修繕を行うことで、利用者に親しまれる施設の整備を推進します。

主な取り組み

各施設の企画展、講座の開催、宇宙バスツアー、さくぶん連携事業
文化施設館長会議

など

■ 今後の取り組み

○施設の効率的な管理運営

各施設の運営管理について、民間活力の導入を検討し、効率的・魅力的な運営や施設の有効活用を図ります。

○文化施設の連携した取り組み

個々の施設が連携して共通したテーマによる企画展を開催し、施設の新しい魅力を発信します。

※さくぶん連携事業とは：本市の文化関連施設（愛称：さくぶん）間の連携により、共同企画・イベントの実施や、情報の共有・発信を図り、施設の魅力を高める事業

施策 7

文化芸術による交流を拡大します。

世代や地域を越えた文化芸術活動のひろがりや、佐久の文化が持つ魅力の発信により、文化芸術を通じた交流をひろげます。

◆世代や地域を越えた交流の充実と情報発信

文化芸術活動を通じた世代間交流の充実や、国内外の地域との交流をひろげ、元気な地域づくりを推進します。

また、こうした文化芸術活動の情報を積極的に発信し、交流人口を創出します。

◆文化芸術と他分野との連携

文化芸術の活動や資源は地域の観光資源ともなり、経済活動の活性化にもつながります。このため、経済や観光と連携した取り組みによりその魅力を広め、交流人口を創出します。

また、企業が行うメセナ活動※との連携による、新たな文化芸術活動の取り組みを推進します。

主な取り組み

世代間交流学級「望月小唄講習会・陶芸教室等」、親子ふれあい学級「書初め教室等」、家族音楽会、全国規模の臨書展 など

■ 今後の取り組み

○世代や地域を越えた交流の充実

世代間交流学級や国内外の他の地域との交流を充実し、世代や地域を越えた交流を拡充します。

○全国へ向けた地域の魅力の情報発信

「書」による地域の魅力を、全国に向け情報発信するため、全国から作品を募る企画展などを推進します。



佐久市子どもまつり

※メセナ活動とは：企業が行う文化活動や文化支援活動のこと（フランス語が語源）